

出張医学教育FD(安曇総合病院)

【日時】 平成26年11月11日 17時00分～ 17時30分

【場所】 安曇総合病院

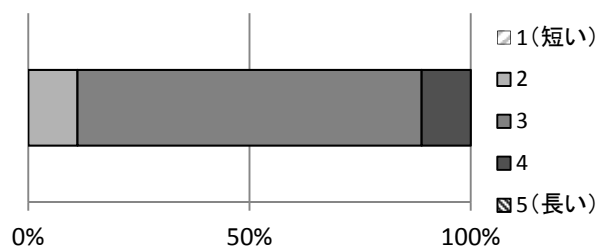
【参加人数】 8名

【内容】

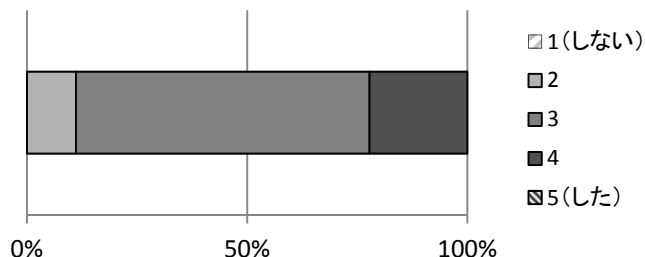
- 卒前クリニカルクラークシップの現状
- 信州大学における今後の臨床実習
 - ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
 - ・学生が行うことのできる医行為について
 - ・臨床実習の指導医
- 患者の同意と事故補償



FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
実習が必要であるということ。	協力教育病院として求められていること。	新しい教育制度をサポートしたいと考えています。
新しい教育制度の必要性とその内容について理解できた。		当方は精神科なので、どう関係するのかがいまひとつ...
プライマリケア領域の医学教育を重視する流れのようだ、ということ。		当院は、精神科etc~地域での支援まで行っており、学生の勉強にはなると思います。
外病院の実習を増やすということ。		成功を祈ります。
新しいカリキュラムの方向。		学生に「どこまでやらせて良いか」明示してほしい。
次年度の具体的学生配置計画。		
日本の医学教育が必ずしも世界の先進国のニーズに合致していないこと。		
見学ではなく、実習・実技が中心になる。		